

建設コンサルタンツ協会中部支部  
若手の会 WG

令和6年度活動報告書

令和7年3月

一般社団法人建設コンサルタンツ協会 中部支部

若手の会 WG

- 目 次 -

1. 活動目的と WG メンバー .....	1
1.1 活動目的 .....	1
1.2 WG メンバー .....	1
2. 活動内容 .....	2
2.1 各種会議等の開催 .....	2
2.2 「Assemble the WAKATE2024in 名古屋」の開催 .....	4
2.3 「建コン WILLSUMMIT 2024」への参加 .....	5
2.4 役員意見交換会 .....	7
2.5 学生 PR .....	9
2.5.1 「JOB Caf� in 名古屋」の開催 .....	9
2.5.2 あいち建設未来サロンへの参加 .....	10
2.5.3 建設技術フェア 2024in 中部 .....	11
2.5.4 産官三機関合同インターンシップ .....	12
2.6 図夢 in 中部への投稿 .....	13
3. 感想と今後 .....	15
3.1 年間の活動を通して .....	15
3.2 来年度の活動方針 .....	15
3.2.1 未来の若手技術者を確保する取り組み（学生 PR） .....	15
3.2.2 若手技術者の意識を良い方向へ .....	15
3.2.3 会社同士のつながりによる業界の発展 .....	15

# 1. 活動目的とWGメンバー

## 1.1 活動目的

中部若手の会WGは、リーダーとして活躍する人材の育成や若手技術者同士の切磋琢磨、業界の活性化を目的に、平成29年4月から任期を2年として発足しました。

現在、4期目として12名が参加しています。

### ★建設コンサルタントの将来を担うリーダーとして活躍する人材育成

WGメンバーが、建設コンサルタント業界を担うリーダーとしての資質向上を図るため、定期的なWGを開催しました。WGを通じて若手技術者同士での意見交換、業界の活性化に向けた議論を実施しました。

### ★業界活性化（入職率アップと離職率ダウン）

建設コンサルタント業界は、知名度が低いこと、長時間労働等による高い離職率が大きな問題となっています。そのため、建設コンサルタントの知名度を向上させることを目的とした“業界PR活動”、労働環境の改善に向けた“業界の意識調査”を軸とする活動に取り組んでいます。

## 1.2 WGメンバー

《リーダー》☆	山下 諒也	株式会社建設技術研究所
《サブリーダー》☆	中迫 惇斗	株式会社エイト日本技術開発
《サブリーダー》☆	鵜飼 浩大	中央コンサルタンツ株式会社
☆	長井 克成	株式会社カギテック
☆	小笠原 聡	株式会社フジヤマ
☆	供田 豪	株式会社国際開発コンサルタンツ
☆	陸浦 昂起	日本工営都市空間株式会社
☆	大野 陽平	八千代エンジニアリング株式会社
☆	佐藤 雄斗	大日コンサルタント株式会社
☆	柳原 奨	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
☆	田中 良樹	中日本建設コンサルタント株式会社
☆	篠原 一輝	株式会社オリエンタルコンサルタンツ

## 2. 活動内容

### 2.1 各種会議等の開催

#### (1) 概要

若手の会 WG では、活動内容の検討等を目的として定例 WG を開催しました。  
上記定例 WG に加えて、技術部会へ参加しました。

#### (2) 定例 WG

##### 1) 開催目的

定例 WG は、本 WG の活動内容をメンバー同士で提案・議論を行い、各イベント等の内容を充実させることを目的としました。

##### 2) 開催形式

開催形式は、メンバーの業務状況等を踏まえて以下の開催方式から選択して柔軟に対応しました。

- ・対面形式
- ・WEB 形式
- ・ハイブリッド形式（対面と WEB 併用）

##### 3) 開催時期

定例 WG は、繁忙期を避けて 4～12 月の期間で月 1 回程度開催しました。

回数	開催日	開催時間	開催形式
第 1 回	令和 6 年 4 月 18 日 (木)	15 : 00～17 : 15	対面形式
第 2 回	令和 6 年 5 月 23 日 (木)	15 : 00～17 : 00	ハイブリッド形式
第 3 回	令和 6 年 6 月 20 日 (木)	10 : 00～12 : 00	対面形式
第 4 回	令和 6 年 7 月 18 日 (木)	16 : 00～17 : 15	対面形式
第 5 回	令和 6 年 9 月 6 日 (木)	15 : 00～17 : 00	対面形式
第 6 回	令和 6 年 9 月 19 日 (木)	16 : 00～17 : 00	WEB 形式
第 7 回	令和 6 年 10 月 17 日 (木)	16 : 00～17 : 30	対面形式
第 8 回	令和 6 年 11 月 15 日 (金)	16 : 00～17 : 00	対面形式
第 9 回	令和 6 年 12 月 19 日 (金)	16 : 00～17 : 15	ハイブリッド形式

### (3) 技術部会

#### 1) 開催目的

技術部会の4委員会（道路委員会、河川委員会、構造土質委員会、都市計画委員会）と活動内容の報告と情報共有を図ることを目的としています。

#### 2) 主な議題

技術部会の主な議題は、各委員会の直近（前回の技術部会以降）の活動結果と活動予定の報告、技術部会として各委員会の情報共有です。

#### 3) 開催時期

技術部会は、拡大技術部会を含めて年4回開催しております。今年度の開催時期は、以下のとおりです。

回数	開催日	開催時間	備考
第1回	令和6年4月24日（水）	15:00～17:00	
第2回	令和6年7月24日（水）	15:00～17:00	
第3回	令和6年10月30日（水）	15:00～17:00	
第4回	令和7年1月29日（水）	15:00～17:00	拡大技術部会

#### 4) 感想

技術部会の委員会は、対外的（行政機関、協会員等）な講習会や意見交換会の企画・開催をしており、来年度以降に意見交換会を実施する際に必要なことを学ぶ機会になりました。

今後、若手の会WGで積極的な企画を立案し、若手であるからこそその発想力等を武器に活動を実施し、成果等を報告できるようにしたいと思います。

## 2.2 「Assemble the WAKATE2024in 名古屋」の開催

### (1) 概要

本部若手の会と中部若手の会による「Assemble the WAKATE 2024 in 名古屋」を実施しました。中部支部若手の会にて実施した「業界の意識調査アンケート」の結果をもとに、「建コン業界のウェルビーイング向上のために語りあう～変化する多様性を柔軟に受け止められる業界へ～」をテーマに、将来の地方及び業界全体の発展に向けた建コン若手の会としての今後のアクションに関わるディスカッションを行いました。

### (2) 実施日時、場所

- ・令和6年6月21日（木）10:00～18:00
- ・イオンコンパス名古屋笹島会議室

### (3) 実施内容

#### 【第1部】「業界の現状（As is）と理想（To be）は？」

- アンケート結果の共有を行い、現状の建コン業界の課題について把握
- ブログウォッチャー様の方から他業界の働き方などを学ぶ
- 業界の現状の課題（As is）と将来の理想（To be）について議論

#### 【第2部】「理想と現状を埋めるアプローチ/アクション方法」

- 理想の建コン業界の実現に向け、でグループに分かれ、理想と課題の間を埋めるためのアプローチやアクション方法について議論

### (4) 感想

「業界を良くしていこうという想いは共通している中で、立場や価値観によって様々な意見やアイデアがあり、1日を通じた交流で多くの気付きを得ることができた。今回の交流会での結果を踏まえ、今後の活動に役立てたい」との総括を得た。

参加者からは「会社や分野は違っても共通する点が多いと知った」、「若手の意見だけでなく、今後は中堅層や経営層などと建コン業界の現状と理想を議論していくことも必要であると感じた」、「他業界と比べて建設コンサルタントの仕事は形に残るものが多く、改めて業界の良い部分に気が付いた」などの意見があり、若手間の交流、異業種交流による気付きや意識の醸成ができたものとする。



## 2.3 「建コン WILLSUMMIT 2024」への参加

### (1) 概要

「業界展望を考える若手技術者の会（本部若手の会）」が主催する「建コン WILLSUMMIT 2024」へ代表メンバーが参加しました。WILLSUMMIT 2024 では、各支部の活動報告と意見交換を行いました。また、國學院大學経済学部 手塚貞治教授によるシナリオプランニング講義を行ってもらい、グループディスカッションにて建コン業界の近未来のシナリオを想定するなど他支部の若手技術者との交流を図りました。

### (2) 実施日時、場所

- ・令和6年11月21日（木）～22日（金）
- ・東京スカイツリーイーストタワー 貸会議室（12F）

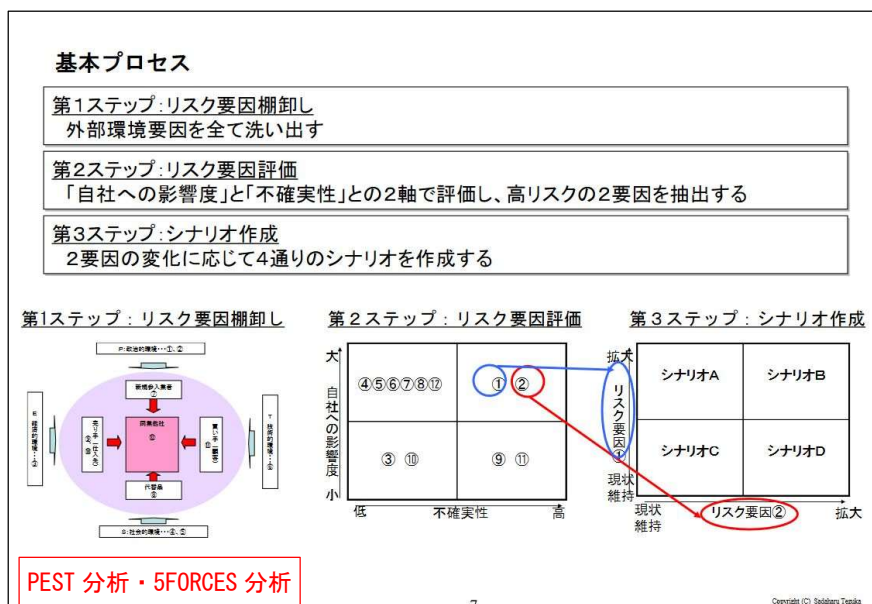
### (3) 実施内容

#### 【1日目】建コン業界の近未来のシナリオを描く

- 各支部の活動状況の報告と意見交換
  - グループワークセッション<建コン業界の近未来のシナリオを描く>
  - シナリオプランニング講義（講師：國學院大學経済学部 手塚貞治教授）
    - ✓ シナリオプランニングとは、将来起こり得る環境変化を複数のシナリオ代替案として用意し、それに対する複数の戦略代替案を検討する手法。
    - ✓ 今回の WILLSUMMIT では、1日目に「将来起こり得る環境変化を複数のシナリオ代替案」を抽出、2日目に「それに対する複数の戦略代替案」を検討した。
- ※将来起こりえるリスク等は、PEST分析および5FORCES分析を用いた。

#### 【2日目】建コンのビックピクチャーを描く

- 働き方の好事例の共有と理想について考える（K-1 グランプリ）
- グループワークセッション<建コン業界のビックピクチャーを描く>



#### (4) 感想

支部紹介と意見交換では、本部や全国若手組織の活動の水平展開を実施したことで、他支部がどんなことをどんなメンバーで実施しているのかよく分かった。また、パネル形式で実施したことで質疑応答も活性化されていたと感じる。

代表ディスカッションでは、各支部の課題は同じであるため、支部同士の情報共有等も今後行うべきであると感じた。

各支部で様々な活動を行っており、来年度に向けて参考になる内容が多かったです。また、全国の技術者と意見交換できたことで、建コンの魅力や改善点を再認識することができました。今後も熱い思いを持ち、業界活性化に向けて取り組みたいと感じる会となりました。



支部紹介



代表ディスカッション



全体の様子



全体写真



## 2.4 役員意見交換会

### (1) 概要

本年、コロナによる中断から3年ぶりに若手の会WGと女性の会WG、役員との3者間で意見交換会を実施しました。

“将来の主役である若手技術者・女性技術者が、建コン業界にどのような要望や変化を望んでいるか”、“時代のニーズに沿った建コン業界の環境”、“各会の活動”等について意見交換を行いました。本年度は若手の会と女性の会が協力して、意見交換会の開催形式やタイムスケジュール等を立案し、開催しました。

### (2) 実施日時、場所

- ・令和6年7月25日（木）15：00～17：15
- ・桜花会館

### (3) 意見交換会のテーマおよび意見

女性の会、若手の会の活動内容や業界の人材育成について等、役人の方々に情報共有と意見をいただきました。



#### 【テーマ1：現在の若手の会WGの活動について】

- ・ 学生PR活動について
  - 大学への周知のみでは、人材確保は難しいかもしれない。小学校等への出前授業を行い、建コン業界の認知度を向上すべき。上記に関しては、役員の方で公募を募集する等の対応となるが、実現性は不透明な回答。公募の場合は、教育委員会とのやり取りが必要で。
  - 学生へのアプローチは今後も継続してほしい。
- ・ 業界の意識調査活動について
  - アンケート結果は建コン業界の現状を調査したものであるため、対外的にアピールするかは慎重に考えた方が良い。例えば、労働時間に不満が多いという回答を学生が見ると、余計に建コン業界から離れてしまう。

### 【テーマ2：若手の会 WG でできること】

- ・ 学生 PR 活動について
  - 協会として小学校への出前講座を提言された。
- ・ 業界の意識調査活動について
  - 【コミュニケーションの課題について】
    - 中部支部でもコロナ前は、野球などスポーツコミュニティがあった。その他、e スポーツなども立ち上げられている。上記コミュニティは若手の会 WG で発起すれば、すぐに形になると考える（野球やサッカーより、フットサルなど人数が少なくても敢行できるスポーツの方が開催しやすい）。
  - 【やりがい（業界の認知度向上について）】
    - 業界知名度向上に向けた広報活動として、CM よりも Youtube や SNS の方が有効だと思う。SNS は他支部がやっているのので、参考にできるが、地道な努力が必要である。
    - 広報活動は、ターゲットや手法を若手の会 WG から提案して欲しい。
    - 発注者との意見交換会は、内容を詰めた上で提案をすれば実現可能。

### 【テーマ3：役員が若手の会 WG に期待していること】

- ・ 担い手確保に向けた広報活動。左記、手法の提案。
- ・ 建設技術フェアは継続。
- ・ 建コンフェアの小中学生へ認知度向上に向けた取り組みの提案。
- ・ 今後、小中学校への出前授業などの協力。

### 【テーマ4：今後の役員との意見交換会の活用方針】

- ・ 役員と若手の会 WG、女性の会 WG が、交流する場として開催を検討する。
- ・ 新しいアイデアや活動案について、積極的に提言する場としたらよい。
- ・ 役員会は月 1 で開催しているので、そのタイミングで提言してもよい。ただし、提言に対して、得られた意見は後日フィードバックしてほしい。
- ・ 意見交換会が建コン業界の社会的地位向上に繋がるように、今後取り組んでほしい。

## (4) 感想

今期の若手の会には女性社員がいないこともあり、普段の WG では得られない女性視点の考え方を聞くことができました。また、役員の方々からは継続して欲しい活動や学生への PR 方法等について意見いただいたことを、今後の活動にフィードバックしながら業界の活性化に向けて検討を続けていきたいと考えています。

今後は、「新しいアイデアや活動案を報告し、意見を募る場」としていきたいと考えています。

## 2.5 学生 PR

### 2.5.1 「JOB Caf  in 名古屋」の開催

#### (1) 概要

学生が職業選択を行うにあたって「建コン」について知る機会は、現状、インターンシップや新卒採用向けの企業説明会など、特定の企業とのつながりに限られています。

そのため、就職活動を控えた学生と若手技術者が自由に話すことで、学生側が「建コン」業界全体を知る機会と、有益な情報を得られる場を創出する目的でジョブカフェの企画・開催をしました。

#### (2) 実施日時、場所

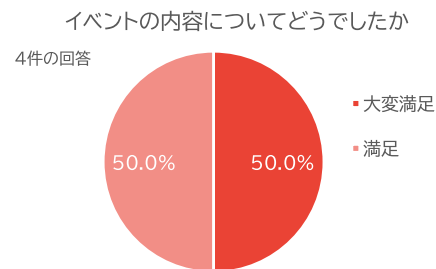
- ・令和6年8月24日(土) 14:30~17:30
- ・オフィスパーク名駅花車デザイン会議室  
(花車ビル北館9階 910AB)

#### (3) 実施内容

- I. 建設コンサルタントとは？
- II. 建コン若手のとある一日
- III. 建コンに就職を決めた理由  
入社前後のギャップとやりがい
- IV. フリートーク

#### (4) 感想

参加した学生の多くが業界について志望しており、全体の話から分野による仕事内容等の違いや各社の特色などより深い話をすることができました。参加した学生の満足度も高いことから、今後も継続して開催することで、より建コン業界を知ってもらえるような情報発信の形を検討していきたいと思ひます。



## 2.5.2 あいち建設未来サロンへの参加

### (1) 概要

愛知県が主催する学生への業界 PR の場である「あいち建設未来サロン」に参加して、就職活動を行う学生の方に対し“建設分野の魅力”を発信するとともに“建設分野に携わる若手人材の育成”を行うことを目的としています。

### (2) 実施日時、場所

- ・大同大学 (令和6年11月22日(金) 13:30~15:20)
- ・名古屋工業高等学校 (令和6年12月20日(金) 13:30~15:20)
- ・名古屋工業大学 (令和6年1月20日(月) 16:00~17:30)

### (3) 実施内容

#### 【大同大学】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から各1名ずつ、計3名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

#### 【名古屋工業高等学校】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から各2名ずつ、計6名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

#### 【名古屋工業大学】

- ・建設会社・建設コンサル・公務員から各4名ずつ、計12名が出席。
- ・学生からの業界に関する質問等に答え、各業界の魅力の発信等を行った。

### (4) 感想

例年参加させていただいており、建コンの魅力を伝えていますが、建コン業界の認知度がなかなか浸透していない印象を受けました。

しかしながら、主催者より「高校生にとっては、なかなか馴染みのない建コンという仕事ですが、建コンの仕事がよく分かったとのアンケート回答が多数あり、主催者としても大変嬉しく思います。」との報告を頂いたことから、あいち建設未来サロンを通して、建コンの認知度向上の効果があったかと思っておりますので、これからも同様の活動については継続していく必要があると考えます。



## 2.5.3 建設技術フェア 2024in 中部

### (1) 概要

建設技術フェアとは、建設技術フェア in 中部運営委員会が主催しており、①産・学・官の技術交流の場を提供し、技術開発や新技術導入の促進に資すること、②建設関連産業の進行、技術開発の推進及び商取引の拡大を図ること、③建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と方向性を紹介すること、④建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々に紹介することを目的としています。そのため、各企業や行政がブースを出展し、建設技術を紹介しています。

### (2) 実施日時、場所

- ・令和6年11月28日(木) 10:00~17:00 / 11月29日(金) 10:00~16:00
- ・ポートメッセなごや 第3展示館

### (3) 活動内容

若手の会では、建設コンサルタンツ協会が出展しているブースを担当し、学生に対して建設コンサルタントに関して説明しました。

- ・11月28日(水)：若手の会より、4名参加(午前2名・午後2名)
- ・11月29日(木)：若手の会より、4名参加(午前2名・午後2名)

### (4) 感想

今年度の展示方法について、まだまだ改善の余地はあったと感じました。各企業が参加している中で、協会としての立場を踏まえて、若手の会として提案できることを積極的に提案していきたいと思います。



## 2.5.4 産官三機関合同インターンシップ

### (1) 概要

中部地方整備局、(一社)建設コンサルタンツ協会中部支部、(一社)日本建設業連合会中部支部が合同でインターンシップを実施しました。3業種の就業体験や職員との意見交換を通して各業種の特色及び公共工事の計画から調査・設計、工事、管理という一連の流れに対し、理解を深めてもらうことで、学生の適切な進路選択をサポートしました。

### (2) 実施日時、場所

- ・令和6年9月2日(月)～令和6年9月6日(金)
- ・愛知建設業会館、中部地方整備局、庄内川河川事務所 小里川ダム管理支所 他

### (3) 実施内容

- ・9/2(月)：オリエンテーション、各業種の概要説明、  
グループワーク「防災・減災を考えたまちづくり」①
- ・9/3(火)：ゼネコンでの就業体験  
(新丸山ダム施工現場見学、防災・減災について等)
- ・9/4(水)：建設コンサルタントでの就業体験  
(CIM作成、解析・設計業務、まちづくり計画等)
- ・9/5(木)：中部地方整備局での就業体験  
(治水計画概要、小里川ダム見学、インフラツーリズム企画等)
- ・9/6(金)：各業種の若手社員との意見交換、  
グループワーク「防災・減災を考えたまちづくり」②、成果発表

### (4) 感想

今年度で2回目の参加になりました。前回同様に参加者には好評であり、建設業全体として魅力をアピールできたと思います。次年度以降はターゲットとする学年を明確にし、建設業界周知のため、文系学生の受け入れも検討予定です。建設コンサルタントへの入職者増加のため、引き続き参画していきたいと考えています。



## 2.6 図夢 in 中部への投稿

【53号（令和6年前期）】

技術部会

### 若手の会WG

委員 田中 良樹

「中部若手の会WG」は、令和6年度になり平成29年の発足から8年目に突入しました。

令和5年度は、コロナ禍が落ち着いたこともあり、対面を主としたワーキング活動を行いました。令和5年度下半期の活動内容と令和6年度上半期の予定を報告させていただきます。

#### < 令和5年度下半期の活動内容 >

#### 1. 建設コンサルタント業界の意識調査アンケート

##### 1.1 概要

建コン業界で働く方々が抱えている不満や不安、要望や期待を把握すべく意識調査アンケートを実施しました。(期間:令和5年11月6日(月)～11月17日(金))

##### 1.2 調査結果

仕事に対する満足度低い若手の一番の事象は、業務量の多さであることが分かりました。その他、モチベーションやコミュニケーション、技術力の伝承といった課題があることもわかりました。上記の事象への課題や解決方法について、若手の会としてできることを考えます。

#### 2. JOB Café

##### 2.1 概要（開催日、場所）

- ・令和5年11月11日（土）14:30～17:30
- ・オフィスパーク 名駅花車デザイン会議室

##### 2.2 内容

「気軽に建コンを知ってもらおう」ことをコンセプトに、就職活動を控えた学生が気兼ねなく若手技術者と自由に話せるイベントを昨年と同様に開催しました。

##### 2.3 感想

全体の話から分野による仕事内容等の違いや各社の特色などより深い話をすることができました。参加した学生の満足度も高いことから、今後も継続して開催することで、より建コン業界を知ってもらえるような情報発信の形を検討していきたいと思えます。



< 写真-1 JOB Caféの様子 >

#### 3. あいち建設未来サロン

##### 3.1 概要（開催日、場所）

- ・令和5年11月24日（金）名古屋工業高等学校
- ・令和5年12月4日（月）名古屋工業大学

##### 3.2 内容

愛知県が主催する学生への業界PRの場で、就職活動を行う学生の方に「建設分野の魅力」の発信をした。

##### 3.3 感想

「馴染みがないが、建コンの仕事がよく分かった」との報告を頂いたことから、建コンの認知度向上の効果があったと感じています。これからも同様の活動については継続していきたいと思えます。



< 写真-2 あいち建設未来サロン >

#### 4. 建設技術フェア2023in 中部

##### 4.1 概要（開催日、場所）

- ・令和5年12月6日（水）、12月7日（木）
- ・ポートメッセなごや第3展示館

##### 4.2 概要

建設技術フェアにて、建設コンサルタンツ協会が出展しているブースに参加し、学生へ「建設コンサルタント」の発信を行いました。

#### < 令和6年度上半期の活動予定 >

昨年度下半期の状況等を踏まえて、以下の活動を予定しています。

- ① Assemble the WAKATE：意識調査アンケート結果から将来の建コンへ向けてのアプローチ方法等について、本部若手の会とディスカッションを行います。(6/21(金))
- ② 役員との意見交換会：女性の会とともに、中部支部役員への活動報告を実施し、活動内容に関する意見交換を行う予定です。(7/25(木))
- ③ JOB Café：昨年度に引き続き、今年度も実施いたします。ただし、昨年度の参加者数が9名と少なかったことから、学生が参加しやすい夏休みの時期に開催いたします。(8/24(木))

技術部会

若手の会WG

若手の会WG委員 供田 豪

「中部若手の会WG」は、令和6年度になり平成29年の発足から8年目に突入しました。令和6年度は、対面を主としたワーキング活動および本部若手の会WGと意見交換会を行いました。

令和6年度上半期の活動内容と令和6年度下半期の予定を報告させていただきます。

< 令和6年度上半期の活動内容 >

1. Assemble the WAKATE in NAGOYA

1.1 概要

開催日：令和6年6月21日（金）10:30～17:30

場 所：イオンコンパス名古屋笹島会議室

1.2 開催内容

昨年度若手の会中部支部が実施した「建コン業界に対する意識調査」より、建コン業界のウェルビーイング向上のための方法等について、本部若手の会と意見交換会を実施しました。

1.3 開催結果

コミュニケーション、就業環境、ワークライフバランス、技術力向上、やりがいの5つのテーマから業界の現状・理想について確認し、ウェルビーイング向上のためのアクションを検討しました。検討内容については、本部と中部支部それぞれの活動で、解決策の模索を行っていきます。



< 写真-1 Assemble the WAKATE in NAGOYA >



< 写真-2 本部との事前合同WG実施の様子 >

2. Job Café

2.1 概要

開催日：令和6年8月24日（土）14:30～18:00

場 所：オフィスパーク 名駅花車デザイン会議室

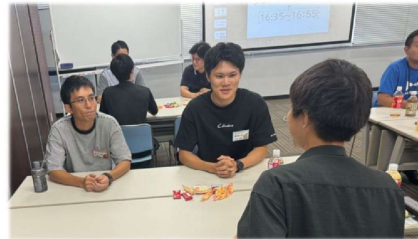
2.2 開催内容

「気軽に建コンを知ってもらう」ことをコンセプトに、就職活動を控えた学生が気兼ねなく若手技術者と自由に話すことができるよう、企画を行いました。

2.3 開催結果

参加頂いた学生からは、「人事の人には聞けないことが聞けた」「建コンの業界研究としてとてもタメになった」等の好評を得られました。

課題はありますが、今後もJOB Caféを定期的 to 実施して、建設コンサルタント業界の認知をより広めたいと考えています。



< 写真-3 JOB Caféの様子 >

3. 役員との意見交換会

3.1 概要

開催日：令和6年7月25日（水）15:00～17:00

場 所：桜華会館

3.2 開催内容

活動について意見、助言をいただくことを目的とし、女性の会WGと合同開催しました。

3.3 開催結果

役員の方から活動内容について、「大学生へのアプローチの継続」と「小中学校出前講座」等の別の角度からのアプローチ方法などの意見をいただきました。

上記の意見は、ワーキング活動で要検討し、来年度以降の活動に活かしていく所存です。



< 写真-4 意見交換会の様子 >

### 3. 感想と今後

#### 3.1 年間の活動を通して

4 期目後半ということもあり、2024 年度の活動は軌道に乗せながら進めることができた。対面による定例会を実施したことで、各委員同士が密に発言でき、定例会を円滑に進めることができた。その結果、例年通りジョブカフェを開催することができた。また、本部若手の会と協力して実施した「Assemble the WAKATE」や女性の会と協力して実施した「3 者間による役員意見交換会」といった新規活動による成果も残すことができました。しかし、課題点も多くあるため、引き続き思考を練る必要があると感じました

現在、若手の会 WG は技術部会に所属しているが、活動内容は総務部会に近いものであります。そのため、“女性の会 WG”と協力し、連携することがこれからの課題であると考えます。また、若手の会 WG の活動意義を再度明確にし、若手の会 WG メンバーおよび若手協会会員にとって有意義な活動ができるように議論していきたいと思えます。

#### 3.2 来年度の活動方針

例年の活動方針は発足当初に考えられた内容であるが、現在の主旨とかみ合っていない部分もあるため、以下の項目を活動方針案として定例会で検討した。

##### 3.2.1 未来の若手技術者を確保する取り組み（学生 PR）

【今後の活動案】JOB カフェ（継続：6 月）、小中高学校への出前講座、大学への講義  
ジョブカフェに参加いただいた学生の方からは、建コンについて理解が深まったといった意見を、事後のアンケートより得られました。しかし、参加者数が少ないことが課題となっています。そこで、来年は6月頃の開催日程を前倒しすることで、業界研究やインターンシップ参加が活発な時期にジョブカフェを開催する予定です。

新規取り組みとして、小中高等学校への出前講座や大学への講義は、役員と検討しながら進めていきたいと考える。

##### 3.2.2 若手技術者の意識を良い方向へ

【今後の活動案】国交省等の若手公務員との意見交換会  
2023 年度に実施した建コンで働く方を対象にしたアンケートをもとに、2024 年度に本部若手の会とディスカッションを行い、具体的な課題と将来に向けた取り組みの検討を進めました。また、国土交通省の若手公務員との意見交換会を検討しており、関連業界における生の声も確認することで、今後の業界を活性化させる取り組みの参考にしていきたいと考えています。

##### 3.2.3 会社同士のつながりによる業界の発展

【今後の活動案】会社同士の交流会、建コン主催の運動会  
他支部の若手の活動では、会社同士の交流会を開催しています。中部支部でも将来的には、同様の機会を設けることで、立場の違いによる働き方等のギャップを共有でき、今後の在り方を考えるよいきっかけになると考えます。

現在行っている、女性の会との意見交換会の継続、本部や他支部との交流会は継続しつつ、中部支部を起点とした、各交流会を通して活動の幅が広がることを期待しています。